

Mランドニュース Vol. 48

丹波ささ山校 平成23年3月1日発行

発行 株式会社山口自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 豊田文雄
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

「全ての人が創造性をもっている」
わたしが大切に思うのは、その人の
生き方全体の創造であり、人生の
責任者としての自覚をもって「私が
生きた」と言えることです。

河合隼雄先生(こころの処方箋より)

Mランドウォッキング

もゲスト、スタッフ参加者全員の成長への一つのプログラムだと考えています。

成長とは、環境との適合力の高まりであると思います。そのためには、個々の持つ潜在的な能力や可能性にいかに働き掛けることができるとか、つまりいろいろな場面との遭遇体験や人との関わりが触媒機能となります。とりわけ、いろいろな人との出会いは個々の相違から最も成長を促す絶好の機会といえます。



言葉を交わしたことのない

『ハンドベル演奏』



スタッフは笑ってしまうと罰ゲームがあり、迷？演技にも素知らぬふり



どこかで見たようなピンクのベスト姿
みんなを楽しませようと熱演でした

最後はみんなで肩を組みタイミングを合わせてのジャーンプが恒例となつたソウルメイトの大合唱。明日は卒業の方もいて、良い思い出に！

『ソウルメイト』



着ぐるみを着て自分達も楽しんでいました

洗車に学ぶ会

日本の文化に
触れてください



もちろんきれいにすることで使う人も自分自身も気持ち良くなることは間違いません。

できるかを考えます。こうして日常の何気ないことも手順や工夫しだいで、作業時間の短縮や水量の節約など無理や無駄がなくなっていくことが体験できます。

水がいくらかぬるんですけど
たとはいえまだまだ冷たい年
前七時、「洗車に学ぶ会」参
加のゲストが教習車を手順
に従つて洗車していきます。
高い所から下の方への手順
や道具の使い分けなど、また
タオル一つ絞ることでもいか
に合理的こそして効率よく



社中の川崎さんもにこやかにお迎えくださいます。



お茶席の名前が決まりました。「三宝庵」と言います。Mランドが提唱する三宝（国の宝、地域社会の宝、家の宝）の大切さを伝えるということでの命名です。

庵主として満仲弘恵先生にご指導をいただきます。

Mランド人として

この時季高校卒業を控え、新たな人生の門出に立とうとしている多くの若者で教習所は賑わいます。

運転免許証は、普通自動車は十八歳から、自動二輪や原動機付自転車は十六歳から取得が可能で、免許証を持つということはひとりの社会人として自立することを意味し、自身その責任を自覚する大事な機会となります。つまり一人前のおとなとして扱っていくきっかけとも言えるのです。



緊張感の中にもやる気がみなぎる教室風景

つた当時、次代を担う若者に明るい希望を持たせ励ましたいと一地方の町から始まります。新成人ではなく新生

児などと評され、荒れる対し、また現状の扱いに対する相応の甘えであり反発、

たり、新成人ではなく新生児などと評され、荒れる対し、また現状の扱いに対する相応の甘えであり反発、

得しようとするとの方は未成年であります。責任をもって社会に乗り出そと主体的に思われたわけですから、たぶん意義のあることです。

そうしたときにMランド人の誇り「三宝」はひとかどりの成人の条件と言えるものであり、その実践を勧めるのです。

中には小中学校卒業の時、立志式として社会の一員としての自覚と成長を促す取り組みをしているところもあるようですが、こちらの方が人としておとなとして凛として愛情を注いでいるように感じられます。

一、乗り物に乗ったときは、立っていることを原則にしよう

座るのはご婦人や子どもです。

世間の人々が見ています。

あなたは、國の宝です

二、公共の場に駐車すると

きは、出入口に遠い所に駐車しよう

三、家では父親にだけはきっと

あなたは、地域社会の宝です

あなたは、家の宝です

あなたは、家の宝です

Mランドの皆様へ

日本でひっそりとある独立国Mランドで僕は成長できました。熱く、優しい指導だけでなく、ここでは人間的な関わりをたくさん持てました。

そんなMランドを僕は愛します。ありがとうございました。

僕は国籍を変え、Mランド人となります。I'll be back!

氏名 杉崎 太一 様

サンキュー・レター

二月に入つてサンキュー・レターの数がぐつと増えています。スタッフからゲストに、ゲスト同士やMランド全体にいただいたサンキュー・レターで、ありがとうございます。Mランドを包んでいます。

ちなみに二月の総数が約二八〇〇通、一日平均約百通が寄せられました。

Mランドの皆様へ

お世話になりました。

事務の方も、指導員の方も、ミロの方も…みんな優しくて、面白くて、素敵なおばかりでした。免許が取れた以上に、こんな良い方たちに出会えたことがとても幸せだと思いました。ここに来て本当に良かったです。

氏名 水野 祥子 様

田村 依子 様 へ

いつも明るい笑顔で周りの人に元気いっぱいの挨拶をされる田村さんは輝いてます。しっかりサポートしてあげたい私の方が逆にパワーをもらえたように励まされてとても嬉しい、なんだか楽しい気持ちになります。ありがとうございます。

氏名 太田 秀矢(スタッフ)

編集後記



二分咲きくらいでしょうか。
まだまだこれからです

この時季になると、寒さに耐え待ちわびたように咲き始める梅の花に自然に目がとまります。「花看半開」という言葉があります。花を観るなら五分咲きの頃と、中国明代の菜根譚という書に著されたものだそうですが、一般的には花は満開が見ごろで美しいと言われ、確かに感動するような場面もありますが、半開の奥ゆかしさ、これから咲き誇るの想像する楽しさも風情を大事にされる方には魅力的なことのようです。

続く言葉に「酒飲微醺」：酒を飲むならほろ酔いまで：とあり、泥酔するのもつてのほかと、足るを知り程良さを教えています。お腹の方も五分目くらいがいいのでしょうか。(文)